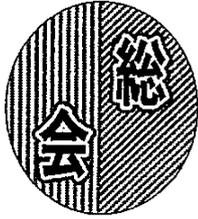


廣谷会長を再任

建設コンサルタンツ協会

建設コンサルタンツ協会は、27日に東京・千代田区のクランドアーク半蔵門で開催した第47回通常総会で役員選任を行い、廣谷彰彦会長を再任した。また、友澤武昭副会長が退任し、大島一哉建設技術研究所代表取締役社長を新副会長に選出した。就任日は6月1日。

総会終了後に開催された懇親会で、廣谷会長は写真には「政府の景気浮揚対策に、高度な技術を



通じて貢献し、しっかりと役割を果たしていく」と述べるとともに、「若者に魅力ある業界となるよう、より一層努力していきたい」とした。

09年度の事業計画における主な活動では、コンサルタンの活動基盤の充実として、社会資本整備を計画的・着実に推進するため、積極的かつ弾力的な計画、調査、設計業務等の推進を強く要望するとしている。協会の諸課題について働きかけるための地方ブロック単位での発注機関等との意見交換会を引き続き開催する。

技術力による選定の促進等による品質確保と向



けて、プロポーザル方式や総合評価落札方式等での契約状況の美態調査の実施、地方自治体にお

る選定や契約制度の動向を調査する。

倫理の保持等では、企業および技術者の職業倫理を徹底するために策定した「職業倫理啓発の手引き」をもとに啓発活動を推進するほか、協会会員の職業倫理の周知徹底と指導強化を図る。

社会貢献活動の推進として、災害時の技術的支援のあり方について検討

を行い、積極的に活動する。

協会組織の充実と活動の強化では、公益法人化

に対応し、委員会活動等の公益性の評価を行うとともに、公益法人改革に係る様々な検討を行う。